





クマの出没を抑制する ①緩衝帯

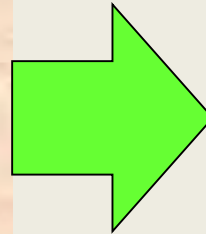
緩衝帯のイメージ

緩衝帯設置前

林内が混んでいて、
身を隠すことが容易
にできる。

緩衝帯設置後

林内が空いていて、
身を隠す場所への移
動距離が長い。







伐採前



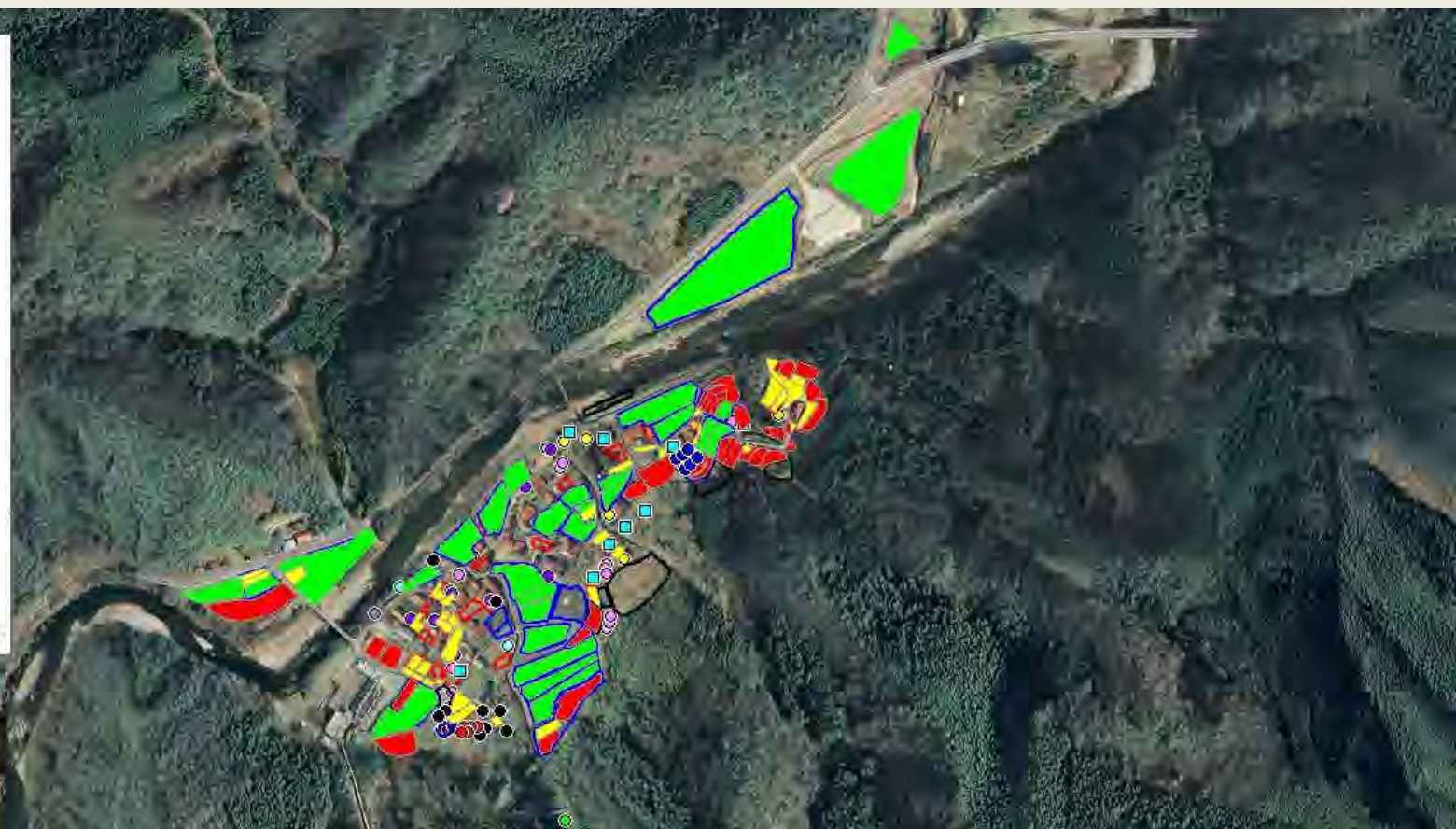
クマの出没を抑制する ②集落を客観的にみつ めている



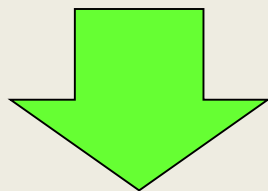


凡例

- 水稲
- 畑
- 休耕地
- 農地放棄地
- ネット柵
- 複合柵
- 空き屋
- カキ
- クリ
- ユズ
- イチジク
- クワ
- ブルーベリー
- ウメ
- 電気柵不良
- クマ出没
- イノシシ捕獲場所



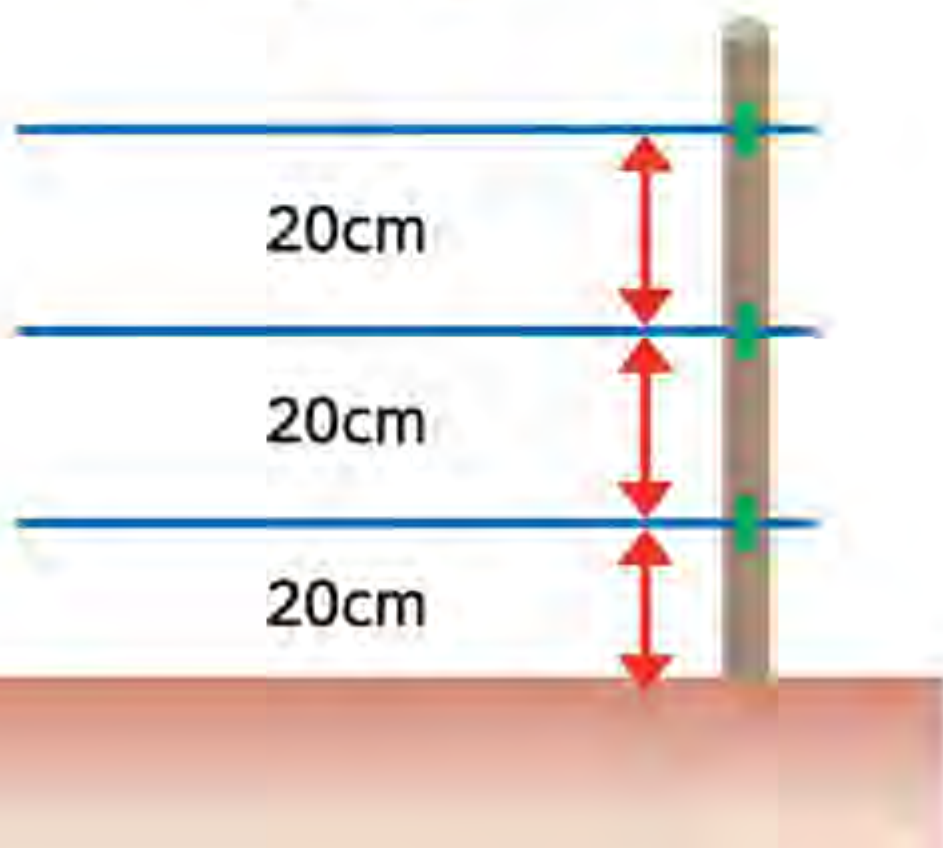
緩衝帯の設置や集落の環境整備（改善）の面的な対策で出没を抑制



守るべき場所は防護柵を設置して物理的・心理的に出没を防ぐ



クマの出没を物理的に遮断する
防護柵のうち、設置方法、管理が
適切であれば電気柵が最も効果が
高い！！







モニタリングの重要性

- 2016(平成28)年度から2020(令和2)年度の出没情報をもとに誘引物を特定したところ、カキが最も多く(57%)、次いでクリ(10%)であった。

